

◇きのこプロジェクト（きのこP）とは

新得町と町内のダムを管理するダム事業者が協力し、町の名産のひとつである「原木しいたけ」と「ダム」をキーワードに、新得町と原木しいたけの知名度を一層上げることが目的とした取組。

各ダム事業者（帯広開発建設部、十勝総合振興局、北海道電力（株）、電源開発（株））は、ダム施設で栽培している原木しいたけの出来映えを「しんとく新そば祭り」で競い合いました。

来場者からは「原木を購入し、自分でも栽培したい」「原木しいたけが新得町の名産だと初めて知った」と言った声がありました。

また、きのこP通信を見にくれたことがきっかけで、ダムマイスター※2の佳さんと尾山玲さんが来てくださり、「4つのダム事業者が同じ目的で競い合うイベントは興味深い」「アイデア満載で、ダム事業者が全力で楽しんでいる姿が印象的」と言っていました。

同時開催の「限定！ダムカードセット抽選会」も大盛況で、富村ダムと岩松ダムのカードの新規作成を喜ぶ声が多く聞かれました。

※1. 当日、原木からしいたけが生えていたら「いいね！」「しいたけや原木の形状等が美しければいいね！」「生やすための工夫と努力が伝わったらいいね！」「※2. 広く一般の方々にダムの実態、役割、魅力などについて知ってもらうため、日本ダム協会から任命された人

9月28日、新得町で開催された「しんとく新そば祭り」の会場内に、きのこPチームのブースを出展させていただき「町内ダム対抗きのこコンテスト」を開催しました。

コンテストは、各ダムの事業者が栽培方法を工夫し大切に育てた原木を披露し、その出来映えを競うものです。

ブース内に来場した方に、「いいね！」「※1と思った原木しいたけに投票していただき、一番多くの「いいね！」を獲得した屈足（くつたり）ダム（電源開発（株））が優勝しました。王者には、新得町湯浅町長から、賞状と記念品（新得焼のお皿）が授与されました。

「町内ダム対抗きのこコンテスト」王者決定！

しんとく新そば祭り

きのこP通信

第5号

発行：2025年10月
帯広開発建設部
地域連携課

「きのこP通信」はきのこプロジェクトチームの活動を発信するものです。



きのこP通信は、HPに掲載中です

結果発表！

1位の屈足ダムの原木は、立派なしいたけが生えた堂々とした風格でした。栽培記録からは、浸水時間や通気、ヘルツにまでこだわったBGMなど様々な工夫と努力が伝わりました。2位の十勝ダムの原木は、発生ホヤホヤの小さなしいたけが生えていて、来場者は珍しそうに観察していました。

3位の佐幌ダムの原木は、残念ながらしいたけの発生はなかったものの、かわいい手作りきのこが小さなお子さんに人気でした。4位の岩松ダム、5位の富村ダムの原木は、どちらも小さなモノから大きなモノまで複数のしいたけがバランス良く生えていましたが、2本のタイプが似ていたためか、票が割れたように感じました。

原木と栽培記録のパネルには、事業者の栽培にかける「熱意」が込められていて、真剣勝負の素晴らしいコンテストだったと思いました。

第22回 しんとく新そば祭り

町内ダム対抗 きのこコンテスト

のそば

「ダム育ち！日陰で輝く金（菌）賞」発表！

菌賞

第1位	屈足ダム（電源開発（株））
第2位	十勝ダム（帯広開発建設部）
第3位	佐幌ダム（十勝総合振興局）
第4位	岩松ダム（北海道電力（株））
第5位	富村ダム（北海道電力（株））

新得町の一大イベントである「しんとく新そば祭り」に出展させていただくことから、はりきってコンテストの賞名を考えました。

その名前は・・・

「ダムのそば育ち！日陰で輝く金（菌）賞」

ダムもそばもきのこ（菌）も盛り込んだ欲張りなネーミングの賞です。育つ環境はトンネルの中のように暗くても、きらりと輝くきのこに育って欲しいという思いが込められています。この賞名の入った新得焼きのこお皿が王者に贈られました。



き

優勝おめでとうございます！テレビや新聞で紹介されていましたが、社内での反応はどうでしたか？

き:きのP通信(インタビュアー)
M:電源開発担当者M

M

「見ましたよ～」とたくさん声をかけてもらいました。

あの原木を選んだポイントは何でしたか？



↑この貫禄！圧巻です！

確かに、軸も傘も特別に立派なしいたけでしたね。
栽培を振り返って反省点がありますか？

祭りのタイミングでは、3本の原木に1つつしいたけが生まれましたが、中でも軸がとて太く、傘も大きなものが調度良いタイミングで仕上がりました。
ひとつでも生えてくれた原木をお披露目できたことにほっとしました。



↑表彰式の様子

奇跡的に育った「大きさ」が評価された点だと思いますが、一方で失敗したのは、はじめの段階でカビと間違えて「しいたけの菌糸」をごっそりそぎ落としてしまったことです。その後、カビでは無く酸素が不足しているのかも・・・という情報にたどり着いたのはラッキーだったと思います。

あの立派なしいたけはその後どうになりましたか？

カレーに入れていただきました。これまでに収穫したものは、フライパンで素焼きにいただきましたが、焼くと香りが強く、ぷりぷりとした食感でした。今後、たくさん収穫できたら、社内できのこパーティかな。

Mさんは、これまでもしいたけと会話をしてきたようですが、優勝について、しいたけとどんな会話をしましたか？

「いや～すごいね！」と語りかけると、元気に嬉しそうな表情を見せてくれたような気がしました(^^)

しいたけとのコミュニケーションが優勝の決め手ですね！

原木しいたけを育てているトンネル内は、
温度:約10℃
湿度:約99%

電源開発J-POWERが管理している屈足ダムを紹介。



屈足ダム

屈足ダムで蓄えられた水は、十勝川左岸地区の耕地を潤すとともに、熊牛発電所とくつり発電所の発電に用いられています。

また、ダムとして初めてグッドデザイン賞(建築・環境デザイン部門)を受賞しています。

所在地	新得町
河川名	十勝川水系十勝川
型式	ロックフィルダム
堤高	27.5m
堤頂長	220.1m
総貯水容量	313万m ³
着工/完成	1984年/1987年
管理者	J-POWER・北海道開発局



→所長室に飾られた優勝の賞状と記念品(新得焼きの皿)

◇◇優勝は逃したものの、コンテストを盛り上げたチームの声を紹介します◇◇

北海道電力(株)

北電は、2カ所で栽培をする、という他の事業者とは異なる状況でのチャレンジでした。また、このお祭りをきっかけに新規作成したダムカードも話題でした。お祭りを終えた気持ちなど教えてください。(き)

富村ダムは事務所から離れているので、行ける日が限られていましたが、2つのダムの発育の違いはありませんでした。初めてしいたけが生えているのを見た時は、喜びと感動しかありませんでした。

富村ダムのしいたけは、早くに大きく育ちましたが、お祭りまではその姿を維持できませんでした。(あれを当日お披露目出来れば…)

今後たくさん生えてきたら収穫祭ができるのでは、と楽しみにしています。

コンテストの結果は残念でしたが、きのこPメンバーと原木しいたけ栽培に取り組めたことは、すばらしい成果だと思います。祭りまでの情報交換は楽しかったし、祭り当日には一体感を感じました。

職場でも全員で協力して進められたことは良かったと思っています。

ダムカードは早速問い合わせが来ていますが、お祭り当日は発行されたことを知らない方も多く「どこでもらえるの?」という質問もありました。(トムラウシ温泉東大雪荘で配付中)たくさんの人に取りに行っていただきたいです。(担当者K)



←富村ダム、岩松ダムは両方ともニョキニョキしいたけが生えてました。

帯広開発建設部

帯広開建は、お祭り当日の朝にハプニングがありました。相当のダメージを受けた様ですが…お祭り当日までの準備や当日の様子など教えてください。(き)

お祭り3日前の夕方、原木に何やらこんもりしているモノを発見。「生えた!」。お祭り当日はその原木を持って意気揚々と会場に向かいました。到着して原木を会場に運ぼうとした時、しいたけが取れていることに気がつきました…。「泣きそう」になりましたがそんなことをしている場合でもなく、ポロリのまま会場に運び入れました。お祭りの間は透明テープで原木に貼り付けて、なんとかみなさんに「しいたけ」を見てもらうことができました。

お祭りまでの間、きのこPチームで打合せをしたり、一緒に作業をしたり、しいたけの発育情報を探り合ったり…楽しく準備をすることができました。来場者からは「面白い企画だね」と声を掛けていただき嬉しかったです。

コンテストは「真剣勝負!」だったことが、この企画が楽しいものになったポイントだったと思います。(担当者T)

十勝総合振興局

十勝総合振興局は、きのこPチームメンバー以外の若い人が手伝いに来てくれていました。残念ながら、しいたけは生えていなかったですが、どんな気持ちで当日を迎えたかなど教えてください。(き)

当日の朝は、1mmも生えていなかったの、「ゴメンナサイ」(T T)という思いでした。ダム施設内での生育にこだわったところが反省点です。実害はありませんでしたが、トンネル内にコウモリがいて、囲いを設置するなどの対策を講じました。

他のチームは立派なしいたけが生えてたりで、うらやましいなあ～と思いました。

パネルや装飾などは、若い人の力を借りたいと考え、「おいしいおそばが食べられるよ～」というノリでチームを結成しました。パネルに登場した「サホちゃむ」というキャラクターや装飾は、若手が作ってくれました。コンテストの表彰式でMCという大役も担ってくれ、ぶっつけ本番で大丈夫かな?と不安がよぎりました(笑)

職務以外で若手職員と交流が出来て良かったと思います。次回は生育段階からビシッと協力を得たいと思います。(担当者K)

きのこPの活動の中で、「サホちゃむ」という新しいキャラクターが誕生しました →



←栽培の工夫について紹介するパネルは力作です



編集後記

お祭りの日はとても天気が良く、来場者は約1万8千人だったとか! きのこPのテントにもたくさんの方が来ていただきました。

色々な声を聞かせてもらえたので、今後の参考にさせていただきます。

チームのみなさん、お疲れ様でした!

協力してくださったみなさん、ありがとうございました!

担当者T



←チームのみんなでパチリ